

I. 運営委員会報告

以下の日程でメール審議を実施した。

1. [H30-005: 意見聴取] 植生学会若手研究者助成制度の新設(案)について意見聴取を実施した(審議期間 2019 年 1 月 10 日から 1 月 19 日)。
2. [H30-006: 採決・意見聴取] 会員向けのアンケート調査依頼への後援について審議し、承認された。また、植生学会若手研究者助成制度の新設(修正案)について意見聴取を実施した(審議期間 2019 年 2 月 9 日から 2 月 15 日)。
3. [H31-001: 採決・報告] 植生学会若手研究者助成制度の新設について審議し、承認された(審議期間 2019 年 4 月 4 日から 4 月 13 日)。また、植生学会運営委員会規則の改定および国際植生学会との連携に関する意見聴取の実施について報告が行われた。

II. 企画委員会報告

1. 亀井基金(本名称についても審議・了承)による、「植生学会若手研究者研究助成制度」の新設について提案し、運営委員会にて審議され、2019 年 4 月 16 日付けで承認された。
2. 「シカと植生の全国アンケート調査」を 2018 年 3 月付けで植生学会ホームページ(<http://shokusei.jp/sika.html>)で公開し、データ収集しているところである(2018 年度～2019 年度)。2019 年 1 月 9 日付けで植生学会 web において中間報告した(http://shokusei.jp/_userdata/Deer2018report.pdf)。その後、3 月末までに集約されたデータ(N=300)をまとめ、5 月末日までに中間報告第 2 弾を予定している。ただし、目標の 1000 データには届いておらず、前回データとの比較には及んでいない。会員のみならずのより一層のご協力を得たいと考えている(主担当: 前迫, 協力: 学会ホームページ掲載, 植生学会会員による世話人, 植生学会員)。
3. 東日本大震災以降、海岸植生モニタリング調査について、植生学会会員によるワーキンググループが組織され、積極的な調査・地域啓蒙活動などが行われている。また、植生学会後援による「海辺のセミナー」が、11 月 4 日、2019 年 1 月 27 日、3 月 2 日に開催された。東日本の海岸植生の調査および地域セミナーが活発に行われている(主担当:

平吹, 協力: 島田, 大淵, 原, 鈴木牧)。

4. 2019 年 3 月に開催された日本生態学会大会(神戸)において、「大きな攪乱からの海浜植生の回復ポテンシャル(群落談話会)」と題して、自由集会在開催された(<http://www.esj.ne.jp/meeting/abst/66/W10.html>) (世話人: 澤田, 前迫)。盛会であった。

III. 学会事務局報告

2019 年 4 月 8 日～21 日の日程で「植生学会運営委員会規則の改定および国際植生学会との連携に関する意見聴取」を実施し、61 名の会員より回答を得た。この内容を整理し、学会 HP に掲載した。

IV. 会員移動(2018 年 12 月から 2019 年 5 月まで)

1. 新入会員(*学生)
向後 裕介
2. 退会
富樫晃一, 山下一宏, 渡辺一夫, 加藤健一, 齋藤広道, 和田美貴代, 竹崎大悟, 坂尾千恵, 中軽米聖花, 根本利起哉, 齊藤佳緒里, 吉崎真司, 亀井陽太郎, 平田晶子, 横山 茂, 植村 滋, 境 宏之
3. 宛先不明
杉村康司, 奥田 賢, 仲山真希子, 山崎香陽子, 奥田 圭, 畑中由紀, 前川恵美子, 羽二生亜衣, 黛 絵美, 池田 茂, LI HAO, 川瀬 彩, 高橋瑛乃, 張 秀龍

V. 植生学会誌校閲者

以下の方々(敬称略, 五十音順)には 2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までの間に受理または不採択(取り下げを含む)となった論文の審査にあたっていただきました。ここに記してお礼申し上げます(*は植生学会員以外)。

石川幸男, 石田祐子, 江川知花*, 岡 浩平, 川西基博, 久保満佐子, 幸田良介*, 斎藤達也, 佐藤 謙, 澤田佳宏, 下田路子, 田中徳久, 中西弘樹, 永松 大, 並川寛司, 野口麻穂子*, 畑 憲治*, 比嘉基紀, 藤田 卓*, 藤原一繪, 星野義延, 真坂一彦*, 若松伸彦